月寒小学校

学校便り
特別号

〒062-0022 札幌市豊平区
月寒西２条５丁目１－１
電話 ０１１－８５１－９３４８
Fax ０１１－８５１－２３５８
学校ホームページ
https://www.tsukisamu-e.sapporo-c.ed.jp
メールアドレス ： tsukisamu-e@sapporo-c.ed.jp

令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果について

令和８年４月２３日に全国の６年生を対象に『全国学力・学習状況調査』が行われました。本調査により測定できるのは、子どもたちの学力の一部ではありますが、今回の調査結果を踏まえて明らかになった本校の子どもたちの学力や学習状況、そして改善の方向を保護者の皆様にお知らせいたします。

また、同様の内容をホームページにも掲載しておりますので御覧ください。

全国学力・学習状況調査の内容

①　教科に対する調査
【実施教科：国語・算数】
→「知識」と「活用」を一体的に問う問題

②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査
→学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

【国語】本校の調査結果概要及び改善の方向

本校調査結果の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 ■【話すこと・聞くこと】 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ■【書くこと】 ・全国平均を下回っている。 ■【読むこと】 ・全国平均を上回っている。 ■【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ■【情報の扱い方に関する事項】 ・全国平均とほぼ同程度である。	▲相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。 ▲資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ▲引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	◎具体的な相手や目的を意識して、話の中心が明確になるように理由や事例を挙げ、筋道を立てた構成を考える学習活動の充実。 ◎目的や意図に応じて、資料を提示しながら話す仕方について検討する学習活動の充実。 ◎引用する目的を明確にし、より読み手に伝わるよう選択する言葉や書き方について推敲する学習活動の充実。

【算数】本校の調査結果概要及び改善の方向

本校調査結果の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 ■【数と計算】 ・全国平均とほぼ同程度である。 ■【図形】 ・全国平均を下回っている。 ■【測定】 ・全国平均を下回っている。 ■【変化と関係】 ・全国平均とほぼ同程度である。 ■【データの活用】 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	▲図形を構成する面について理解すること。 ▲百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。 ▲示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること。	◎図形の観察や構成・分解を通して、立体図形を構成する要素について考察する学習活動の充実。 ◎日常生活の様々な問題場面において事象を数理的に捉え、数量の関係に着目し、基準量、比較量、割合の関係や、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察する学習活動の充実。

児童質問紙の回答結果から（全国平均と比較して）

肯定的な回答が多かった質問項目	肯定的な回答が少なかった質問項目
○自分には、よいところがあると思いますか。 ○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 ○人が困っているときは、進んで助けていますか。 ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 ○学校に行くのは楽しいと思いますか。 ○英語の勉強は好きですか。 ○あなたは自分がＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか。 ○あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べる）ことができると思いますか。 ○あなたは自分がＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。	●将来の夢や目標をもっていますか。 ●分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

◎「自己肯定感」や「他者意識」など、人と豊かに関わるために必要な意識の醸成が進んできている様子が見られます。今後は、その豊かな関わりから、自らの夢や目標へとつなげ広げていけるよう、キャリア教育等の充実を図ります。

◎ＰＣ・タブレット（クロームブック）等を学習の中で活用する力が身に付いてきており、自信へとつながっています。今後は、学習時の使用方法をより具体的に提示していくことで、自分で学び方を考えたり、工夫したりする学習のツールとしての定着を図り、学習内容や場面に応じて適切に使用することができるよう、支援していきます。

◎学校生活を通して多くの人と関わる中で、自ら学習したことや体験したことと関連付けて考えることができるような、学習活動の充実を図ります。